

令和8年度 大分県立美術館事業一覧（予定）

No	展覧会名	主催	会 期	会 場	概 要	観覧料 (検討中)
1	カイ・フランク展 時代を超えるフィンランド・デザイン	財団	4月25日(土) ～6月14日(日)	展示室A	フィンランドを代表するデザイナー、カイ・フランク(1911-1989)は、人々の暮らしに寄り添い社会的課題を解決するデザインを追求し、「フィンランド・デザインの良心」と称される。本展では、ヘルシンキ建築&デザイン・ミュージアムのコレクションを中心に、ガラス器や陶磁器、ファブリック、スケッチ、写真・映像など約250点を展示する。来日の足跡や影響を受けたデザイナーも紹介し、作品と思想に迫る回顧展である。	一般 1,500円 高校生 1,200円
2	ラブ! ヴァンガード!! 前衛を愛した、あるコレクターの眼 -草間彌生、ヘイター and more	財団	6月13日(土) ～8月16日(日)	展示室B	本展では、一人のコレクターの審美眼に基づき、独創的な表現でアートの先端を切り拓いてきた作家の作品を収集した「Wコレクション」の全貌を紹介するものである。「ヴァンガード」(前衛/革新/先駆)をキーワードに、スタンリー・ウィリアム・ヘイターから、具体美術協会、河原温、奈良美智を経て草間彌生へと至る歩みと眼識に迫るものである。特に草間彌生の作品は、初期から現在に至る軌跡と芸術的エッセンスを示す重要な作品群である。	一般 1,500円 高校生 1,200円
3	Hello Kitty展-わたしが変わるとキティも変わる-	実行委員会	7月17日(金) ～9月23日 (水・祝)	展示室A	ハローキティは誕生から半世紀を迎え、今や世界中で知られ、愛されている世の中を見渡しても稀な存在である。本展では、「キティとわたし」の50年をテーマに、そのユニークさをひも解くものである。さまざまなテーマの展示コーナーや史上最大量のグッズを展示するほか、アーティストとのコラボ作品、オリジナル映像コンテンツ、フォトスポットなど、見どころと体験にあふれた展覧会である。	一般 2,000円 中高生 1,500円 小学生 1,000円
4	出光美術館名品展 出光佐三のこころ-美を守り、未来へつなぐ	財団	11月13日(金) ～1月11日 (月・祝)	コレクション展示室	出光美術館は、出光興産の創業者であり美術館創設者の出光佐三(1885～1981)が蒐集した美術品を展示・公開するため、昭和41年(1966)に東京都千代田区丸の内を開館した美術館である。コレクションは、国宝2件、重要文化財57件を含む約1万件にのぼる。本展では、出光佐三が愛した仙厓の禅画、古唐津や中国陶磁、近現代の日本・西洋美術、さらに新たに加わった江戸絵画など、各分野の名品を紹介するものである。	一般 1,500円 高校生 1,200円
5	わたしたちのルノワール -日本が恋した永遠のほほえみ	財団 ※実行委員会設置に向け調整中	11月23日 (月・祝) ～1月17日(日)	展示室A	19世紀を代表するフランス印象派の画家、ルノワールは、明るく幸福な雰囲気満ちた作品で世界中に愛され、日本においても最も人気のある画家の一人である。本展では、日本各地の美術館が所蔵するルノワール作品を一堂に集め、遠い異国の画家であったルノワールが日本に受容され、わたしたち日本人にとって身近な画家となっていくまでの変遷を、同時代の印象派作家や影響を受けた日本人作家の作品とともに紹介するものである。	一般 1,800円 高校生 1,200円
6	ヨシタケシンスケ展かもしれない	実行委員会	2月6日(土) ～4月4日(日)	展示室A	本展では、絵本作家・ヨシタケシンスケが長年にわたり描きためたスケッチの複製約2,500枚をはじめ、絵本の制作過程をたどるアイデアスケッチや原画、私物コレクションなどを紹介する。また、ヨシタケシンスケが考案したインタラクティブなアトラクションなど、絵本の世界を体感できる仕掛けも展開する。発想の豊かさに支えられたヨシタケシンスケの「かもしれない」展示空間を体感できる展覧会である。	一般 1,500円 中高生 1,000円 小学生 500円

自主企画展